

ワンストップIT会社 設立サービス

お問い合わせ

社名：NGUYEN合同会社
設立：2019年4月4日
代表者：Nguyen Minh Viet
(グエン・ミン・ヴィエト)
所在地：〒158-0095東京都世
田谷区2-26-8
電話番号：03-6314-2896
事業内容：商業・サービス業

A 3D architectural rendering of a modern building structure, showing a complex network of beams and supports, rendered in a light green color. It is positioned on the right side of the page, overlapping the white and green sections.

NGUYEN
合同会社



システム導入サポート



CRMの活用方法

顧客情報の記録方法やデータの保存方法、保存場所、また、これらのデータの使用方法や利用場面について様々なパターンを検討しなければいけません。例えば、郵便、Webページ、店頭販売、カスタマーセンター、外回りの営業スタッフ、またはマーケティング戦略や広告など、顧客とのコミュニケーションは様々な手段が考えられます。

CRMの活用や必要性に関する指標

実のところ、必要性を具体的に評価する方法はありません。しかし、顧客とのコミュニケーションに利用しているチャンネルの量がCRMの必要性を表す可能性があります。チャンネルが多岐にわたるほど、CRMを活用する必要性が高く、顧客の「閲覧」を集めることができます。

CRM

CRMとはCUSTOMER RELATIONSHIP MANAGEMENTの略で、顧客関係を管理するツールです。顧客のニーズや習慣を正確に調査することで、顧客とより深い関係を築き、正確で効率のよいアプローチが可能となります。また、アカウント情報、ニーズ、連絡先情報といった顧客情報を管理し、より質の高いサービス提供が可能になります。

CRMの目的

- ・顧客に対するより質の高いサービス
- ・提供顧客サービスセンターの生産性向上
- ・営業社員が行う受注業務の徹底的な効率化
- ・マーケティング
- ・販売プロセスの簡素化新規顧客開拓売り上げ向上

CRM活用時に集計するデータ

CRM事業では以下のカテゴリのデータを集計しなければいけません。

- ・受注日、配達日
- ・仕入量、販売量
- ・顧客アカウント情報
- ・Webページ登録データ
- ・カスタマーサポート
- ・サービスの関連情報

口座 195,938円

現金 -10,100円

銀行

- みずほ 206,038円
- ジャパンネット 0円

クレジットカード

まだ登録されていません
口座を登録

その他連携サービス

- Coiney 0円
- モバイルSuica (My ...) 0円

すべての口座を同期

お知らせ

【free更新情報】 Androidアプリに確定申告機能を追加 [詳細](#)
 【free更新情報】 見積書の作成に対応 [詳細](#)
 ジャパンネット銀行の振込手数料がfree限定で業界最安値に [詳細](#)

[お知らせ一覧へ](#)

今日やること

17件が登録待ち: 「自動で経理」 から登録しましょう。
 2,560,436円の **入金** が期日を過ぎています。
 538,337円の **支払** が期日を過ぎています。
 標準プラン適用前の取引は、表示/計上されていません。未課金期間の購入へ

自動で経理

未処理 17 件

取引を登録する

↑ 収入 ↓ 支出 ≡ 振替

請求書を処理する

受取 発行

決済期日の近い取引

方向	日付	金額
↓	2015-01-09	37,528円
↑	2015-01-09	9,878円
↑	2015-01-09	9,878円
↑	2015-01-09	9,878円
↑	2015-01-09	8,783円

[もっと見る](#)

今期取引累計

	収入	支出	収支計
今期取引累計	1,598,906	530,545	1,068,361
期末予想	1,598,906	530,545	1,068,361

メリット1: 作業時間を減らすことができる

メリット2: 精度が高い

メリット3: 使いやすい

メリット4: 各種レポートが作成可能

メリット5: 給与表の計算・作成が可能

メリット6: 税務処理が可能

会計ソフトが必要な理由

なぜ会計ソフトを利用しなければいけないのでしょうか。これは企業経営者からよく受ける質問です。多くの経営者は手作業での業務をシステム化しておらず、会計ソフトによるメリットを受けていない様子が見受けられます。弊社がが会計ソフトの利便性について一部紹介させていただきます。

企業の管理業務で会計ソフトを使うと、時間節約、最大限の経費削減、報告書作成作業の簡素化など様々なメリットがあります。会計ソフトを取り入れるべきか悩んでいませんか？みなさんが会計ソフトについて理解を深め、適切にご判断をするサポートができればうれしいです。



開発プロジェクト管理システム

プロジェクト管理は簡単なことではありません。プロジェクトを進めていく中で多くの問題、トラブルが発生し、解決することができずにプロジェクトの停滞を招いてしまうこともあります。そのため効果的な管理ツールを利用し、日々の業務の中で発生し得る様々な失敗やミスをできる限り防がなければなりません。現在、開発プロジェクト管理システムは多くの企業や組織にご検討いただいています。しかし、なぜ、他でもない開発プロジェクト管理システムなのか、疑問に思う方もいらっしゃるでしょう。開発プロジェクト管理システムのどのような点が役に立つのでしょうか。以下がみなさんにおすすめしたいポイントです。

- ・プロジェクトの業務量は少なくありません。とりわけ、大型プロジェクトには多くの部門があり、簡略的な方法ではプロジェクトを完璧に管理するのは難しいです。プロジェクトの管理業務は大変なことばかりで、効率の良い正確な管理ツールを使わなければ、運営に支障をきたしてしまいます。

- ・プロジェクト実施中は想定外の事態が発生し、プロジェクトの中断を招く事態が発生する可能性がたくさんあります。

- ・プロジェクトの管理者、全体責任者はいつも同じ場所で仕事をしているわけではなく、あらゆるトラブルに対応できるわけではありません。特に大型プロジェクトではプロジェクトサイトがたくさんあり、別々に仕事をしていては結合作業やシステム構築を同期化できません。そのため、引継ぎがとても難しく、突然の出来事や想定外の出来事に対応することができないのです。

- ・従来のプロジェクト管理方法では、最大限の効果が発揮されません。様々なケースや場面で情報処理プロセスが間違っている可能性があるからです。

- ・開発プロジェクト管理システムは様々なプロジェクト管理委員会の実際の苦労やニーズを基に開発され、発生しうる問題の大部分に対応することが可能です。そのため、迅速に、効率よくプロジェクトを管理することができます。



ERP

“ERP”という単語の R と P、2つの文字は新たな経営管理の手法について表しています。

RはResource (資源)の頭文字です。経営においては、一般的に「資源」とは財源、人的資源、テクノロジーのことを指します。一方、ERPシステムにおいては「資源」は「資産」を意味します。経営管理業務にERPシステムを取り入れることで、「資源」を「資産」に変えることができます。そのためには以下のことが必要です。

PはPlanning (計画)の頭文字で、経営管理において認知度の高い概念です。ここで意識しなければならないことは、ERPシステムは経営計画の策定をどのようにサポートするのか、ということです。

ERPシステムは業務内容や、生産・経営プロセスに必要なノウハウに関する計画策定をサポートするツールでもあります。例えば、価格方針、割引率、仕入れ方について、原料の仕入れ方法の選定、最適な生産モデルの算出などといったサポート通じて計画を策定します。これによって各業務での誤りを最小限に抑えます。加えて、ERPシステムによってグループ企業間、部署間、そして部署内部の連携が進み、全社員統一の業務対応手順が生み出されます。



ERPシステムは企業の各部署別のコンピュータシステムを取り入れていません。資産、人事、経営、生産、在庫管理などの部門で個別に稼働していたソフトウェアに変わり、ERPシステムはこれらを一元化して最も経営にふさわしいソフトウェアプログラムとなりました。ERPシステムは企業の要望に合わせて各部分の設定をフレキシブルに変えることができます。ERPシステムの核となる技術的な機能は、金銭管理や多量の企業・支店情報の管理が許可されていること、多言語表示が可能であること、ExcelからのインポートもしくはExcelへのエクスポートが可能であること、ドリルダウンデータ分析が可能であることなどです。

人事給与システム

人事給与システム（Payroll software）は所得税、補償金、年末のボーナス、給与表、欠勤、給与支払い、利益管理や社員の書類管理など、給与支払い業務を処理するシステムのことです。多くの企業や組織はこれらの管理業務を外部委託しています。しかし、自社内で処理するのが会社にとって最も好ましく、多くの人事給与システムがサポート体制を整えています。

人事給与システムへの投資が必要な理由

給与表は作成頻度が高く、同時に正確性も求められるので、各作業プロセスの自動化システムへの投資が必要です。人事給与システムによってミスを極力抑えることができ、作業時間短縮をしながら、正確性を向上させることができます。

小企業

小企業の場合、給与表作成作業を合理化できる方法を見つけてください。給与表作成に特化した人事給与システムでよいですが、リーズナブルな基本使用料のものを選ぶ必要があります。

中企業

社員50人以上の規模の企業に勤める人事担当者の場合、基本給関連の機能のある人事給与システムを使うと、より多くの恩恵を受けることができます。この規模の企業にとっては、社員の試用期間や銀行口座への直接振り込みへの対応、納税機能やその他の機能（従業務や工数の管理など）があった方が有益で、総合的な人事管理システムの方が好ましいと考えられます。

大企業

人事部署を経営資源計画を策定する部署に発展させ、給与表の作成、人的資源の管理、そして可能であれば人的資源管理システムも一元化できるものがが必要です。会計部署と各システムのように、人事部署内の他の担当者と人事給与システムの給与表を緊密に結び付けることができます。

